

L'aile d'Howl



猛暑の夏も一転、いよいよ秋の気配が
してきました・・・暑い夏の思い出を振り
返ってみましょう！

【ライル・ドウル：ホウルの翼(伝説)】

2010年9月号



1

真夏のチェリーカップIN東根！！

毎年恒例、東日本小学生ハンドボール大会、通称チェリーカップに参加してきました！お盆の真っ只中の8月14日～15日の開催にも関わらず、毎年参加チームも増え続け、今回からは予選リーグなしのトーナメント戦となりました。男子は19チーム、女子は16チーム、東北から関東まで多くの小学生ハンドボールが集い、文字通りの熱戦を繰り広げました。

我が花巻クラブジュニアは、男子は郡山ハンドとの初戦を9-10の1点差で落としました。また女子は東京の府中ハンドとの初戦となりましたが、相手のロングシュートを止めることができず敗退してしまいました。なお、岩手県から出場した矢巾フェニックスは麻生フェニックスとの「フェニックス対決」を制することができず、またリトルハンドも富岡イーグルスに大差で負けてしまいました。



いずれも内容は悪くなかったものの、やはり関東勢、特に茨城や群馬の強化状況は非常に注目するものでありました。ランパスの精度と、いかに自分から前を狙ってシュートに行こうとするかがカギとなっている気がしました。翌日は敗退したチーム同士による交流試合が行なわれましたが、前日の反省を活かし、内容のよいゲームになりました。結果はいずれも引き分け、1点差負けというものでしたが、小学生は結果が全てじゃない！みんな本当によく頑張りました。

小学生は10月10日の県南大会、さらにその翌週には湯沢JCカップが控えています。大会数を重ねて子どもたちがなお一層レベルアップすることを期待してやみません。

2

目指せ千葉国体☆ 東北総体の結果はいかに？

お盆翌週の8月20日(金)～22日(日)にかけて、花巻市総合体育館、花巻市民体育館の2会場において、東北総合体育大会、通称ミニ国体が開催されました。東北各県の成年、少年の選抜チームが、今年千葉県で開催される国民体育大会への出場権をかけて戦いました。熱中症になりそうな猛暑日の中、文字通りの熱戦が繰り広げられました。

まず少年男子の部。岩手県選抜は、先日の沖縄インターハイで第3位に輝いた不来方高校に、盛岡一高のサウスポーエース大津選手を加えた布陣。東北王者そして全国でもトップレベルのチームは、途中2年生を中心としたメンバーに替えても勢いを落とすことなく順調に決勝に駒を進めます。中でもインターハイでも優秀選手に選ばれた森田啓亮選手のプレーは圧巻！リスタートからの速攻では1人で4人くらいディフェンスをかかわしてシュートを決めていました！少年男子の部は岩手県選抜が決勝で福島選抜を破り、全く



危なげなく国体本選出場を決めました。

少年女子は、同じく不来方高校を中心に、盛岡二高、白百合高などの選手がメンバー入り。川村いぶき選手(花巻クラブジュニア→花巻北高)は2年連続での選抜となりました。また、藤原千寛選手、佐々木明日香選手(花巻クラブジュニア→花巻中→不来方高)は1年生でのメンバー入りを果たしました。予選リーグではエンジンのかかりが遅く、後半からのスロースタートとなったようですが無事に準決勝進出。しかし、ユース日本代表の古関春南選手を擁する秋田選抜との準決勝ではなかなか気持ちよくシュートを打たせてもらえず、残念ながらここで敗退。本選への切符を手にすることができませんでした。しかし、佐々木選手の速攻や、藤原選手さんのミドルシュートなど、1年生ながら光るプレーも多かった試合。来年の活躍が非常に期待できる内容だったと思います。



成年男子は、岩手教員、不来方クラブに学生を入れた布陣で試合に臨みます。予選リーグでは福島選抜に勝利したものの青森選抜に足をすくわれ、3チームが1勝1敗で並ぶ結果になりましたが、得失点差で岩手が1位通過。その後は順調に勝ち進み、準決勝では宮城選抜、決勝ではHC秋田が主体の秋田選抜を下し、堂々の優勝を飾りました。今回からスタッフ入りした樋下監督、亀田コーチに代わってメンバー入りした学生たちがうまくチームに溶け込んでいたことも勝利の要因だったのではないかとおもいます。



成年女子は、富士大学の学生に白梅三英会会のメンバーが中心のチーム。関東学生リーグ経験者も交えてのチーム編成で、予選リーグでは福島、山形を下して1位通過。準決勝には秋田選抜に1点差で競り勝ちましたが、なんと決勝では逆に1点差で宮城選抜に敗れてしまい残念！しかし、堂々の準優勝で、千葉国体への出場を決めました。



なお、成年女子について特筆すべきは、青森、宮城を除く4県において、富士大学の選手がそれぞれメンバーとして活躍していたこと！どのチームでも得点源として素晴らしい活躍をみせていました。ある監督からは、「岩手で育ててもらって地元で頑張ってくれています」と小友監督に対する感謝の言葉も☆ここでも、岩手のハンドボール地盤の強固さを垣間見ることができました。

上記より明らかなおと、総合でも岩手県が優勝！改めて、東北地方におけるハンドボールのメッカとしての結果を残せたのではないかと思います。千葉国体へ出場する選手の皆さん、全国にも岩手県のパワーを思う存分見せてきてほしいと思います。**ガンバいわて！**

3

秋季東北学生リーグが花巻で開催されました☆

去る9月15日～18日、花巻市総合体育館にて第55回となる東北学生秋季リーグが開催されました。

男子1部は秋田大が優勝！東北福祉大と引き分けでしたが、得失点差で見事な優勝を飾りました。熊谷智史選手(花巻北高)、菊池雄太選手(盛岡四高)など岩手県出身選手も大活躍だったようです。富士大は惜しくも3位！インカレの切符をつかむことはできませんでした。引退する4年生はお疲れ様でした！

女子1部は富士大が全勝優勝！前述のとおり各県の国体メンバーが揃って東北の頂点に立ちました。インカレでも関東勢に負けまいと頑張ってください！

なお、岩手大学は男子2部で第2位、盛岡大学は男子3部Aで第4位でした。

なお、平日の忙しい中、人が足りないということで何試合も担当してくださった岩手県ハンドボール協会の審判員の皆様、大変お疲れ様でした！

L' aile d' Howl (ライル・ドウル)
2010年9月号
2010年9月25日 発行

発行:花巻市ハンドボール協会